

令和5年度 授業改善推進プラン（小学校学級担任用）

福生第三小学校 第6学年1組 担任 ○○ ○○

1 福生市学力・学習状況調査の結果				
	分類	意識調査の質問項目	組	全国
学びに向かう力	感情のコントロール	8 家の人は自分のことを気にかけてくれていると思う	94.4%	94.0%
		53 自分には、先生や友だちからほめられるような得意なことがある	80.6%	76.1%
		54 自分の力をできるだけ伸ばしたいと思う	91.7%	92.8%
	目標の達成	18 ふだんから「不思議だな」、「なぜだろう」と感じることもある	75.0%	74.0%
		26 ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある	83.3%	91.9%
	他者との協働	107 私は、友だちをばかにしたりからかったりせず、一人ひとりの心や命を大切にしている。	63.9%	83.0%
	学力と関係が深い質問	43 調べてわかったことをもとに、考えをまとめられる。	66.7%	75.3%
		46 パソコンを使ってまとめたり、発表したりできる。	69.4%	74.7%
		33 習った内容の中で、理解できていないことをわかっている。	72.2%	81.3%
領域名 学力調査の分析 ○成果 ▲課題				
国語	言葉・情報・言語文化	▲全国平均正答率を27.9ポイント下回り、(ひょうこうを漢字で書く)設問に課題がある。		
	話すこと・聞くこと	▲全国平均正答率を14.1ポイント下回り、(森下さんの説明の理由を選ぶ)設問に課題がある。		
	書くこと	▲全国平均正答率を28.1ポイント下回り、(企画書の一部に見られる書き方の工夫を選ぶ)設問に課題がある。		
	読むこと	▲全国平均正答率を24.2ポイント下回り、(文章に関連する表の効果を選ぶ)設問に課題がある。		
算数	数と計算	▲全国平均正答率を25.4ポイント下回り、(3/8を小数で表す)設問に課題がある。		
	図形	▲全国平均正答率を22.4ポイント下回り、(三角形の角の大きさを求める)設問に課題がある。		
	変化と関係	▲全国平均正答率を27.0ポイント下回り、(自転車で進むのにかかった時間を求める)設問に課題がある。		
	データの活用	▲全国平均正答率を24.1ポイント下回り、(犬を飼いたい人の人数を求める)設問に課題がある。		
2 児童の実態		3 児童の実態を踏まえた授業改善の取組		
<p>国語の学習に関しては、すべての項目で全国平均正答率を下回り、多くの課題が見られる。特に、『漢字の書き』、『文章の読み取り』や『文章を書く』設問で、全国平均を大きく下回った。意識調査では、『国語の授業で、わからない言葉があれば、国語辞典で調べるようにしている』が全国平均よりも低く、それが原因であると考えられる。</p> <p>算数の学習に関しては、すべての項目で全国平均正答率を下回り、多くの課題が見られる。特に『数と計算』や『変化と関係』が全国平均を大きく下回った。意識調査では、『算数・数学の授業で、グループで協力して問題を解いて発表することがある。』が全国平均よりも低く、それが原因の一つであると考えられる。</p>		<p><国語></p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字の定着を図るために、確認テストを定期的に行う。 説明文の授業においては、文章構成が示された図や手本となる文章を提示することで、児童が見通しをもてるようにする。書く活動の際には視写の時間を設定することでより書く力を高められるよう支援する。 <p><算数></p> <ul style="list-style-type: none"> 各単元において四則計算の確認を行いながら、進めていく。ミライシードを活用して、3～5年生の問題に取り組む時間を設定する。さらに、各文章問題において、解き方の解説を行い、四則計算を選択できるよう指導していく。 多角形の具体物に触れる機会を多く設定し、基礎基本の定着を図る。 		
4 ミライシードとの連携機能を活用した取組				
個別ドリルの実施状況		令和5年8月末時点で完了している児童 75.7% (28人/37人中)		
確認テストの実施状況		令和5年8月末時点で完了している児童 72.3% (27人/37人中)		